

晃の園だより

尊厳を守り、ゆとりある生活を共に生きる



春さきの、涼しさがまだ少し残る季節のこと。中庭に面する廊下で将棋の勝負が始まりました。ショートステイの利用者様と長期の入居者様が楽しそうに駒を進めます。お二人が同じ趣味を持つことを知った職員さんが、『是非一手!』と場所を用意してくれたようです。窓から見える中庭には沢山の花が咲いているのが見えます。暖かい陽射しも肌に心地よく感じます。簡易的なテーブルも楽しさの邪魔にはなりません。贅沢な場所での贅沢な時間の過ごし方と言えるのではないのでしょうか。

タイトル下に記載のある『尊厳を守り、ゆとりある生活を共に生きる』は晃の園の基本理念です。理念自体はただの”言葉”でしかありません。直接背中を押してはくれないし、手を引いてもくれません。でも、夜の海に光を灯して船を導く灯台のように、考え方の基本を明確にして取るべき行動の目安となってくれるのが理念。そう、理念は心の灯台なのです。そして言葉の解釈が人それぞれ違うように、心の灯台も一人一人の心の中にそれぞれ存在するのです。個々の職員が自分の心の中の”理念という名の灯台”に光を灯すことができた時、理念はただの言葉でなくなるのかもしれない。

普段の生活の中で



皆で柏餅作り。上新粉から餅を作り、餡子を丸めて餅でくるみ、葉っぱで包んで出来上がり。こういった手作業は入居者様の早いこと早いこと。楽しい会話も盛り込んで笑顔で作業するうちに、ほらもうこんなに沢山出来ました。



静岡の春と言えば新茶の季節ですね。晃の園近辺のお茶畑でも沢山の新茶が収穫されていました。そんな新茶を楽しむとびきり贅沢な時間。せっかくだから時間と手間をかけて美味しいお茶を淹れてみました。ゆっくりとお楽しみを。



入居者様が職員さんと一緒に何やら真剣な様子で作業されています。どうぞらご自分の衣類を一生懸命縫ってくださっているようです。かれこれ1時間くらい、根気良く丁寧に。静かな時間が流れています。



天気のいい午後。テラスでは大量の洗濯物が太陽の陽射しを受けて気持ちよさそうに風に揺られていました。お日さまの匂いに包まれてカラッと乾いた洗濯物が、笑顔と一緒に大きな籠に次々と取り込まれていました。



春は植え付けの季節でもあります。園内のあちこちで、耕された畑に色々な苗が並んでいます。ここの畑のスイカの収穫ぶりを見て、真似をする畑がずいぶん増えました。今年も沢山の野菜が収穫できますように。



事務所からふらっと中庭をのぞくと、なにやら入居者様と職員がワイワイ楽しそうに集まっています。どうぞらこれからラジオ体操が始まるようです。ちょっと動くだけでも汗ばむこの日は、そんな体操日和でもありました。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページの掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、ぜひご覧ください。



お問い合わせは
☎ 054-270-1210
FAX 054-270-1253



インターネット ホームページ
ホームページ <http://www.surugakai.net/hikari/>
Eメール hikarinosono@surugakai.net



お茶の会へようこそ 関わりの深いお茶だから



静岡はお茶の一大産地。晃の園のまわりにも茶畑が沢山あります。当然、晃の園で生活されている入居者様にとっても、関わりが深く、沢山の思い出に繋がるものなのではないでしょうか。そんなお茶を楽しむ会が、今年も清響棟で開催されました。

新茶を煎茶と抹茶で、勿論甘いものもご用意しました

旬の新茶を煎茶でゆっくりとお楽しみください。また、隣では本格的なしつらえの中で抹茶も点てています。お茶の世界の雰囲気を存分にお楽しみください。勿論甘いお菓子も用意してあります。作法など気にせず自由に召しあがってください。『楽しむことが大切』は、まさに茶道の基本です。



当日は、茶道を知る職員さんが正装で、本格的に皆さんをもてなしました。新人職員さんは鮮やかな茶娘の衣装で登場して踊りを披露。楽しい時間を作ってくれました。その他の職員も少し改まった服装で参加した効果もあり、お茶の会はほどよい緊張感の中、楽しく美味しい時間を過ごすことができました。



ラーメン屋さん人気、継続中 皆が楽しいからこそ続くのです



うどんやそばなど、晃の園でも麺の食事は時々登場します。でもラーメンは何故かメニューに登場しません。栄養士さん曰く『同じ麺でもラーメンはいろいろ難しいことがあって…』とのこと。ならば、どうすれば園でラーメンを食べることが出来るのか…その答えが厨房職員さんによる出張ラーメン調理でした。現在人気継続中のラーメン屋さん企画はこうして生まれました。



『ご注文をどうぞ』元気の声がかかります。ふむふむ…スープは醤油と味噌から選べるわけですね。トッピングは…チャーシュー、メンマ、たまご、のり、ねぎ、なんと…沢山の種類がありますね。では全部乗せてください！えっ？餃子やデザートも注文出来るのですか！

なんとも自分で選べる楽しさ嬉しさ満載のラーメン屋さん企画です。勿論、味もおまかせください。厨房から出向いてくれた調理人さんの手による一品ですから。

入居者に食事を楽しんでいただくことが第一の目的。でもそれを職員も一緒に楽しめるのであれば言うことはありません。また楽しめた企画だからこそ、準備にかけた手間も達成感に変わります。とはいえ人気の一番の理由は『みんなラーメンが好きだから』のようです。いやはや凄いですラーメンの力は。



沢山の皆さんに支えられています

晃の園には毎月沢山の皆さんがボランティア活動に訪れます。その活動内容は演芸、清掃、喫茶など様々ですが、入居者様に楽しんでほしい、喜んでほしいという皆さんの想いは同じなのではないでしょうか。『喜んでくれて私も嬉しい！』皆さんのそんな想いこそが、活動を支えている原動力なのだと思います。私たちスタッフは、ボランティア活動をされる皆さんの想いと、入居者様の生活の潤い、その両方に関わり、そして支えていきたいと思っています。



晃の園では、日々現場で職員が写真を撮っています。職員ごとの気付きを職員ごとの視線で。

手先に集中して、ただ一心に針を動かす入居者様。そんな時間を提供出来たことが嬉しいことです。そして、そんな様子を上手に写真に収めることもできました。その気付きや視線こそが、とても大事なものに思えます。

福祉用具の導入に向けて 入居者様にこそ体験してほしい、この使い心地



今回のデモンストレーションでは、モデルユニットの入居者様にも協力いただき、それぞれの方のベッドから車椅子、車椅子からベッドの移乗方法について確認をしながら、その方に合った用具と使用方法を確認しました。

介護者の負担軽減が主な目的と思われがちですが、使っていただく入居者様に対しても負担軽減などの効果が大きい期待できる移乗リフト。だからこそ、入居者様にも実際に体験していただくことはとても大事なことです。協力いただいた入居者様は、初めての体験にちょっぴり緊張された様子でした。

まずはモデルユニットの、限られた入居者様の、限られた場面において福祉用具を導入します。その後は状況を見ながら、段階的に範囲を拡大する予定です。いよいよ実践にむけて本格的に動き出した福祉用具の導入。乞うご期待です。

棟棟の大屋根を葺き重ねました 10年区切りの保全工事

快適な生活を続けるために



晃の園の一番手前にある棟棟で、屋根の防水機能維持を目的とした保全工事を行いました。10年区切りの屋根保全工事は今回で2度目となります。『何かが起こる前に』計画的な修繕の実施が建物の保全ではとても重要です。

屋根の下地の状態を確認した上で、現在の屋根の上に新しい屋根材を重ねる『葺き重ね』という工法での実施です。これまでとは材料も色も少し変えてあります。どんな雰囲気に仕上がるのか楽しみです。

